

シリーズ

「私の森林語り」

森林・林業との関わりの中で、
様々な課題に挑戦されている方
の取組を紹介します。



(株)飛驒の森でクマは踊る
(通称:ヒダクマ) マーケティング
井上 彩
いのうえ あや

■自己紹介

三年前の入社をきっかけに飛驒へ移り住みました。ヒダクマではWEBサイトの記事の編集やメールマガジン、イベントの企画・運営などを担当しています。

■活動内容

ヒダクマは、市内森林の七割を占める広葉樹の活用と地域経済の創出を目標に掲げ、岐阜県飛驒市と全国で森林・林業のプロデュースを行う(株)トビムシ、東京のクリエイティブ・カンパニー(株)ロフトワークが出資し、二〇一五年に設立しました。



曲がり木をAR技術でチェーンソー加工

地域の人の間をつなぐこと。私たちは、プロダクトの魅力はもちろん、企画から製作に

空間・家具の設計・製作、商品開発の支援のほか、町中にあるデジタルもののづくりカフェFabCafe Hida(ファブカフェヒダ)の運営などを行っています。

細く曲がった木。土場に長らくあったボロボロの丸太。皮付きの耳材。製作時に出た端材。それらは価値がないとされる木は、建築家・デザイナーのアイデアと職人の高い技術、最新のテクノロジによって、木の個性を生かしたプロダクトに生まれ変わります。ヒダクマの仕事はそのイメージを具現化するため、森と建築家、

関わる人がチーム一丸となってつくることを大事にしています。FabCafe Hidaは、新しい出会いやコミュニティを育む交流拠点です。高貴な香りが特徴の木を焙煎したクロモジコーヒーを味わったり、鉋やレーザーカッターを使ったり、ものづくり、森への理解を深めるイベントを楽しむことができます。



渋谷・宮下パーク内のカフェ前に設置した曲がり木のプロダクト

■今後の展望(メッセージ)

ヒダクマの取り組みは、飛驒市が推進する「広葉樹のまちづくり」と連動しています。目標は木材の価値を高めるだけではありません。ヒダクマの挑戦は、地域の子どもたち、大人、おじいちゃんやおばあちゃんにとっての森とともに

にある暮らし・文化をいかに守り、未来につないでいくかということに重なり合っています。今後、地域内外の人と協働し、飛驒ならではのより良い森と人との関係を考え、それを支える一助となれるよう頑張っていきたいです。



様々な木を1グラム1円で量り売り「蔵出し広葉樹」

○連絡先

株式会社飛驒の森でクマは踊る
〒五〇九一四一三五
岐阜県飛驒市古川町式之町六番一七号
TEL〇五七七―五七七―七六八六
ホームページ
hidakuma.com

